

地域での多胎家庭支援事業を拡充しよう ～明日から始める多胎支援～

コロナ禍で、多胎家庭の孤立はますます深刻になっています。国からの「多胎妊産婦支援事業」が始まって3年目となりましたが、各地からは「事業をどう展開していくのかがわからない」という声も聞かれます。自治体やサークルの様々な立場の多胎支援の実践から、自分の地域でも始められる支援について考えてみませんか。

2022年10月16日(日)

10:00～12:30 (受付9:30～)

参加無料 申し込み締め切り10/7 (金)

【会場】 大阪大学医学部保健学科 第一講義室 (吹田キャンパス)

【方法】 会場とオンライン(zoom)のハイブリッド (お申し込みは裏面)

【内容】

■ 行政説明 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課

虐待防止対策推進室 室長補佐 西浦 啓子氏

■ 実践報告

「高槻市こども保健課の取り組み」 高槻市こども未来部子ども保健課

副主幹 山下 典子氏

「茨木市立子育て支援総合センターの取り組み」

茨木市立子育て支援総合センター 所長 藤井 紫津子氏

保健師 則光 直子氏

「豊中市多胎サークルの取り組み」 ふたごさんあつまれ

代表 坂山 光湖氏

■ 講演 「実践例から学ぶ地域での多胎支援」

大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター 招聘教授/

おおさか多胎ネット代表 / 日本多胎支援協会理事 落合 世津子氏

【対象】 医師、保健師、助産師、看護師、保育士、子育て支援関係職員、
子育て支援関係団体、多胎家庭の方、多胎支援に関心のある方など

共催 大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
協力 おおさか多胎ネット ふたごさんあつまれ さくらんぼ(吹田) ほっと・ビーンズクラブ そらまめキッズ
(順不同) 多胎児クラブジェメリ さくらんぼ(摂津) ぴーなっつ ツインズチェリー 双子サークルジェミニ
双子サークル「ミラクル」 都島ふたごLINE おひさまの会 ルルロロ 中ツインエンジェルズ
えだまめっこwithさくらんぼキッズ ジェミニクラブ さくらんぼくらぶ クローバー
ホームスタートたかつき推進協議会

後援 厚生労働省 大阪府 大阪府 堺市 高槻市 東大阪市 豊中市 枚方市 八尾市 寝屋川市 吹田市 茨木市
(予定・順不同) (公社)日本看護協会 (公社)日本助産師会 (公社)大阪府看護協会 (一社)大阪府助産師会

会場へのアクセス



【電車】

阪急電車千里線「北千里駅」(終点)
下車 東へ徒歩20分

【モノレール】

大阪モノレール「阪大病院前駅」下車
徒歩約15分

【バス】

千里中央駅 阪急バス「阪大本部前行」
又は「茨木美穂ヶ丘行」
阪急茨木市駅 近鉄バス「阪大本部前行」
(JR茨木駅経由)
いずれも、阪大本部前下車 徒歩約5分

大阪大学 吹田キャンパス
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7
代表電話番号：06-6879-5111

参加者の方は、公共交通機関でご来場ください。
入口ゲートでの会場お問合せは渋滞につながりますので
ご遠慮ください

参加申し込み方法

会場参加、オンライン参加ともに
右記申込フォームから お申し込みください。



マスク交流会 (同会場内) ※飲食・オンライン配信はありません。
2022年10月16日 (日) 12:30~13:30
参加をご希望の方は、申込フォームにご記入ください

<https://forms.gle/mfwedNY3XzJ7GvQB8>

